



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
 コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,946	12.3	1,810	1.9	1,972	12.1	1,249	19.0
29年3月期第2四半期	14,206	5.5	1,776	16.9	2,244	34.2	1,542	37.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,424百万円 (76.3%) 29年3月期第2四半期 808百万円 (24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	19.62	19.44
29年3月期第2四半期	24.41	24.15

当社は平成28年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,077	23,231	69.2
29年3月期	30,186	22,086	70.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 22,197百万円 29年3月期 21,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		5.50	
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	11.9	4,300	14.1	4,400	6.7	2,900	4.0	45.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	63,801,200 株	29年3月期	63,610,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	320 株	29年3月期	320 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	63,672,275 株	29年3月期2Q	63,159,850 株

当社は、平成28年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年11月6日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催します。

説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(偶発債務の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

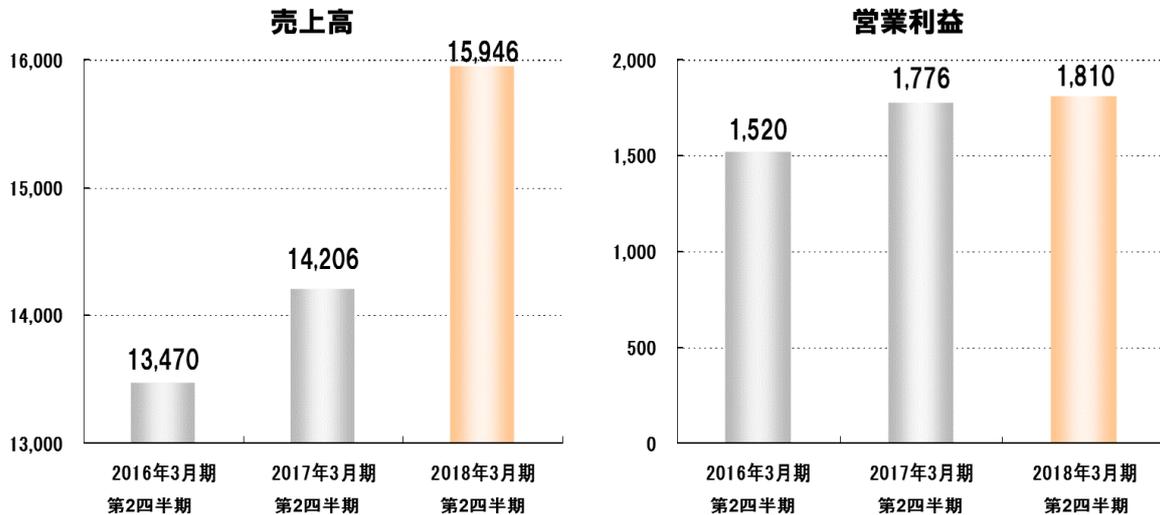
当第2四半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における当社グループを取り巻く経済環境において、世界的な政治問題が市場に影響を与える局面が多くなっており、一方で国内的には、人財の確保に関して課題が継続しているものの、BPO市場規模は堅調に推移しており、当社においても高い需要を頂いております。

このような環境の下、中期事業計画に基づき、「継続的・安定的な成長」「プレステージ・インターナショナルでしか実現のできないサービスの創造」を骨子とした取り組みをグループ全体として実行しております。人財採用につきましては、秋田県横手市において秋田BPO横手キャンパスの仮センターが平成29年4月より稼働しており、人財の確保に大きく寄与しております。加えて、人財の基盤となるBPO拠点におきまして、女子スポーツの実業団チームの活動による各BPO拠点設置地域の知名度向上等の効果を活用し、採用機会の増加に取り組んでおります。また、現場対応グループ会社の戦略的な拡充・強化を積極的に実施いたしました。

当第2四半期の連結売上高に関しましては、ロードアシスト事業をはじめとする主要事業が堅調に推移し、15,946百万円(前年同期比12.3%増)となりました。営業利益に関しましては、秋田BPO横手キャンパスの仮センター稼働、現場対応グループ会社の拡充、新規クライアント開始準備等の先行コストが発生したものの事業成長により吸収し、1,810百万円(前年同期比1.9%増)となりました。経常利益に関しましては、前第2四半期に計上した為替差益393百万円の反動があり1,972百万円(前年同期比12.1%減)となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,249百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

	前第2四半期	当第2四半期		参考 前連結会計年度
売上高	14,206百万円	15,946百万円	(前年同期比12.3%増、1,740百万円増)	29,477百万円
営業利益	1,776百万円	1,810百万円	(前年同期比1.9%増、33百万円増)	3,768百万円
経常利益	2,244百万円	1,972百万円	(前年同期比12.1%減、271百万円減)	4,124百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,542百万円	1,249百万円	(前年同期比19.0%減、292百万円減)	2,789百万円
1株当たり当期純利益	24.41円	19.62円		44.08円

当社は平成28年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



● ロードアシスト事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供しているロードアシスト事業は、主に当期間中に新規獲得したクライアントの影響により、増収となりました。

営業利益につきましては、秋田BPO横手キャンパスの仮センター稼働、現場対応グループ会社の拡充、新規クライアント開始準備等の先行コストにより減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	5,542百万円	6,247百万円
営業利益	587百万円	548百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+705百万円	+12.7%
営業利益	-39百万円	-6.7%

● プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての専有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、不動産向けサービス(ホームアシスト)の堅調な成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、現場対応グループ会社の拡充、新規クライアント開始準備等の先行コストが発生し、減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	1,820百万円	2,052百万円
営業利益	99百万円	86百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+232百万円	+12.8%
営業利益	-13百万円	-13.4%

● インシュアランスBPO事業

保険に関するサービスを提供しているインシュアランスBPO事業は、海外駐在員向けサービス(ヘルスケア・プログラム)の新規クライアント獲得及び会員数の堅調な増加により、増収となりました。

営業利益につきましては、サービス価値向上を目的としたシステム投資による先行コストが発生し、減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	1,694百万円	1,827百万円
営業利益	298百万円	266百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+132百万円	+7.8%
営業利益	-32百万円	-10.9%

● ワランティ事業

保証に関するサービスを提供しているワランティ事業は、主に家賃保証プログラム及び自動車延長保証が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益に関しては、主に家賃保証プログラムでのコスト抑制効果があり、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	1,848百万円	2,118百万円
営業利益	340百万円	508百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+269百万円	+14.6%
営業利益	+167百万円	+49.3%

● ITソリューション事業

ITソリューション事業におきましては、前第2四半期の新規獲得案件の反動により、減収減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	498百万円	358百万円
営業利益	143百万円	24百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-139百万円	-28.0%
営業利益	-119百万円	-83.1%

● カスタマーサポート事業

国内のカスタマーコンタクトサービスと日本人駐在員向けクレジットカードサービスを展開しているカスタマーサポート事業は、新規クライアントの獲得及び、既存受託業務が堅調に拡大しており、増収となりました。

営業利益に関しては、クレジットカードサービスにおいてコスト上昇があったものの、成長により吸収し増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,400百万円	2,962百万円
営業利益	337百万円	422百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+561百万円	+23.4%
営業利益	+84百万円	+25.0%

● 派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、人材派遣業務が業務委託契約に切り替わった影響が継続し、減収減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	399百万円	378百万円
営業利益	-32百万円	-43百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-21百万円	-5.4%
営業利益	-11百万円	-34.4%

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第2四半期末における総資産は、32,077百万円となり前連結会計年度末に比べ1,891百万円増加となりました。流動資産は、現金及び預金が881百万円増加、立替金が293百万円増加し、1,287百万円増加いたしました。また固定資産は、建物及び構築物(純額)が131百万円減少、投資有価証券が816百万円増加し、前連結会計年度末に比べ603百万円増加しております。

負債に関しましては、流動負債のその他が706百万円増加、賞与引当金が111百万円増加、長期借入金が87百万円減少いたしました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より746百万円増加し、8,846百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが平成29年6月に発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益が1,249百万円であったため前連結会計年度末に比べ1,145百万円増加しております。

[キャッシュ・フローの状況]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,815百万円の収入(前年同期比18.1%増)となりました。主なプラス要因としては、税金等調整前四半期純利益が1,976百万円、減価償却費が465百万円、未払消費税等の増加額が103百万円等であり、主なマイナス要因としては、法人税等の支払額が700百万円等があります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,346百万円の支出(前年同期比146.6%減)となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が317百万円、投資有価証券の取得による支出が369百万円、定期預金の預入による支出が725百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、388百万円の支出(前年同期比97.0%減)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が87百万円、配当金の支払額が349百万円、ストックオプションの行使による収入が74百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、11,879百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,750,654	12,632,578
受取手形及び売掛金	3,180,477	3,275,101
商品及び製品	13,554	15,373
原材料及び貯蔵品	20,856	27,331
立替金	3,532,749	3,825,962
その他	1,680,181	1,721,379
貸倒引当金	△484,115	△515,633
流動資産合計	19,694,358	20,982,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,634,454	5,502,552
その他(純額)	793,454	823,391
有形固定資産合計	6,427,909	6,325,944
無形固定資産		
その他	1,017,959	940,487
無形固定資産合計	1,017,959	940,487
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428,452	3,244,635
その他	664,027	629,946
貸倒引当金	△46,480	△45,738
投資その他の資産合計	3,045,999	3,828,843
固定資産合計	10,491,867	11,095,274
資産合計	30,186,226	32,077,367

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,119,416	1,110,145
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	619,235	604,317
賞与引当金	336,222	447,262
保証履行引当金	82,139	68,085
その他	4,012,245	4,718,553
流動負債合計	6,519,259	7,298,363
固定負債		
長期借入金	250,000	162,500
退職給付に係る負債	2,214	1,559
資産除去債務	866,978	892,718
その他	461,450	490,873
固定負債合計	1,580,644	1,547,651
負債合計	8,099,903	8,846,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,415,923	1,453,442
資本剰余金	2,093,983	2,131,853
利益剰余金	16,578,637	17,469,441
自己株式	△194	△194
株主資本合計	20,088,349	21,054,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477,170	506,879
為替換算調整勘定	596,351	635,770
その他の包括利益累計額合計	1,073,521	1,142,650
新株予約権	77,719	106,173
非支配株主持分	846,732	927,985
純資産合計	22,086,322	23,231,352
負債純資産合計	30,186,226	32,077,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,206,028	15,946,335
売上原価	10,811,421	12,431,274
売上総利益	3,394,607	3,515,061
販売費及び一般管理費	1,617,690	1,704,376
営業利益	1,776,916	1,810,685
営業外収益		
受取利息	6,246	6,951
有価証券利息	14,788	18,040
受取配当金	3,918	3,942
持分法による投資利益	45,461	50,633
為替差益	393,318	80,105
その他	13,045	17,079
営業外収益合計	476,778	176,752
営業外費用		
支払利息	1,385	938
支払手数料	2,000	4,000
消費税等調整額	2,611	6,784
その他	2,914	2,720
営業外費用合計	8,911	14,442
経常利益	2,244,784	1,972,994
特別利益		
固定資産売却益	4,303	4,063
補助金収入	4,127	1,223
特別利益合計	8,430	5,286
特別損失		
固定資産売却損	—	302
固定資産圧縮損	4,127	1,223
特別損失合計	4,127	1,525
税金等調整前四半期純利益	2,249,088	1,976,755
法人税、住民税及び事業税	684,979	701,385
法人税等調整額	867	△80,257
法人税等合計	685,847	621,127
四半期純利益	1,563,240	1,355,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,195	106,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,542,045	1,249,105

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,563,240	1,355,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,212	29,798
為替換算調整勘定	△762,418	39,419
その他の包括利益合計	△755,205	69,217
四半期包括利益	808,035	1,424,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786,854	1,318,233
非支配株主に係る四半期包括利益	21,181	106,612

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,249,088	1,976,755
減価償却費	456,371	465,178
のれん償却額	8,400	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	69,057	30,787
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,897	110,770
保証履行引当金の増減額(△は減少)	△27,686	△14,053
受取利息及び受取配当金	△24,952	△28,934
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△4,303	△3,760
支払利息	1,385	938
為替差損益(△は益)	△257,088	△31,622
持分法による投資損益(△は益)	△45,461	△50,633
投資有価証券評価損益(△は益)	△111	△5,141
補助金収入	△4,127	△1,223
固定資産圧縮損	4,127	1,223
固定資産除却損	314	0
売上債権の増減額(△は増加)	△318,500	△89,699
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,230	△8,293
その他の資産の増減額(△は増加)	△121,183	△235,186
仕入債務の増減額(△は減少)	70,720	△29,765
その他の負債の増減額(△は減少)	262,807	246,863
未払消費税等の増減額(△は減少)	△289,061	103,464
その他	39,763	48,190
小計	2,021,432	2,485,857
法人税等の支払額	△516,080	△700,593
利息及び配当金の受取額	29,144	30,825
利息の支払額	△1,074	△743
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,533,422	1,815,346

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△724,512	△317,028
投資有価証券の取得による支出	△17,800	△369,280
投資有価証券の償還による収入	141,466	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	12,573	4,408
貸付けによる支出	△3,549	△6,613
貸付金の回収による収入	7,552	4,738
差入保証金の差入による支出	△59,248	△59,394
差入保証金の回収による収入	5,268	5,230
補助金の受取額	91,430	119,010
定期預金の預入による支出	—	△725,287
その他	△1,425	△1,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△548,245	△1,346,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△87,500	△87,500
配当金の支払額	△251,178	△349,996
非支配株主からの払込みによる収入	—	8,900
非支配株主への配当金の支払額	△1,200	△34,291
自己株式の取得による支出	△152	—
リース債務の返済による支出	△1,244	△992
ストックオプションの行使による収入	143,894	74,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,381	△388,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△418,630	57,447
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	369,165	137,669
現金及び現金同等物の期首残高	8,605,829	11,741,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,974,995	11,879,546

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(偶発債務の注記)

当社が請負ったパッケージソフトウェアの販売代理およびカスタマイズ開発において、顧客企業から契約不履行を理由として、損害賠償請求を受けております。当該パッケージソフトウェアのカスタマイズ開発については、パッケージソフトウェアの開発・販売元の企業に再委託しており、実質的に当該企業が開発を担っております。

当社としましては、顧客企業からの契約不履行の理由について再委託先と共同で調査を進めており、この結果や顧客企業との協議により、当社の連結業績に影響が生じる可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であります。